

遠心機点検報告書



納入先	山口大学医学部附属病院 病理検査室		点検日	2023年10月09日
遠心機本体	MODEL 4000	SER.NO. QX6276	点検者	里翔平
ロータ	型式 ST-722M	SER.NO. QY3571	ご承認印	松江 孝花

病理-C-1

055-0880

下記のとおり遠心機の点検を行いましたのでご報告申し上げます。

点検項目	点検内容	点検結果
モータ	防振関係のボルト、ナットの緩み	✓
	カーボンブラシの長さ(残部5mm以上)	△
	火花と整流子の状態	△
	ブレーキの異常有無	✓
	モータカバーゴムの状態	✓
	異常音の有無	✓
	シャフト、ドライブピンに異常は無いか	✓
	ワンタッチホルダに異常は無いか	△
回転制御	回転数のずれを確認(±100rpm以内) ロータ型式 ST-722M 設定回転数 3,500 rpm 測定値 3,500 rpm	✓
タイマ	5分間計測時の誤差(±2秒以内)	✓
インバランス	インバランス停止機構が動作するか	✓
ヒューズ サーキットプロテクタ	変形、変色	✓
電源	ナイフスイッチ/コンセントの発熱有無	✓
	パワースwitch端子部の発熱有無	✓
	アース端子の接続	✓
絶縁	絶縁抵抗(500V絶縁抵抗計5MΩ以上)	✓
チャンバ蓋	蝶番、ガスプリングの状態	✓
	回転中の蓋のロック、停止時の蓋のロック解除	✓
	インターロック蓋スイッチ	✓
外観	外観の異常有無	✓
水平	ロータ上部にて水平点検	AD
	アジャスタの緩み	△

点検項目	点検内容	点検結果
ロータ バケット	ロータ、バケットの腐食やクラックの有無	✓
	ウインドシールドの腐食やクラックの有無	△
	バケットはスムーズに振り上がるか	AD
	固定ボルトは確実に締め付けられていること	✓
	蓋のつまみは十分に締め付けられていること	△
	ロータのドライブピン、中心金具に異常は無いか	△
	ロータ、バケットの耐用年数/回数の超過	NR
	ジョイント	シャフト、ドライブピン、クラウンに異常は無いか 異常音の有無
チャンバ	チャンバエッジゴムの状態	✓
	水、ごみ等の溜まり	✓
	ドレンホースの詰まり	△
温度制御	表示値/測定値 / (±℃以内)	△
冷凍機	ラジエータが目詰まりしていないか点検と清掃	△
	ファンの回転状態	△
	冷却能力テスト(設定4℃) ロータ型式 回転数 rpm	△
ロータ固定ボルト	ロータ固定ボルトの締め付け最終確認	✓
度数計	22,889 回	
積算時間計	2,182h	

記号	内容	記号	内容
✓	点検結果正常です	RL	部品を交換しました
AD	調整しました	NR	修理が必要です
△	適用外項目	交換	至急交換が必要です

所見 AD① 水平がとれていなかたため、機の水平を調整しました。
 AD② バケットを清掃しグリスアップしました。
 NR. ロータ・バケットの耐用年数を超過しております。交換を推奨します。

(注) 部品の交換をおこなわず事故が発生しても弊社では責任を負えません。

以上の点検を行いました。

久保田商事株式会社